

チリ経済情勢報告(2020年4月)

<概要> 景気は、コロナウイルス等の影響から一部で悪化している。

- 消費は悪化している。
- 観光は急速に悪化している。
- 生産は、工業、鉱業ともに増加。企業マインドは一部で大きく悪化している。
- 失業率は高い水準にあり、悪化している。
- 物価は横ばいとなっている。
- 貿易は黒字が続いている。
- 銅価格は持ち直し、為替はペソ安に一服感、株価は持ち直している。

先行きについては、コロナウイルスによる消費停滞、雇い止め等国内経済活動及び世界経済の停滞、国内情勢不安の引き続きの影響に留意する必要がある。

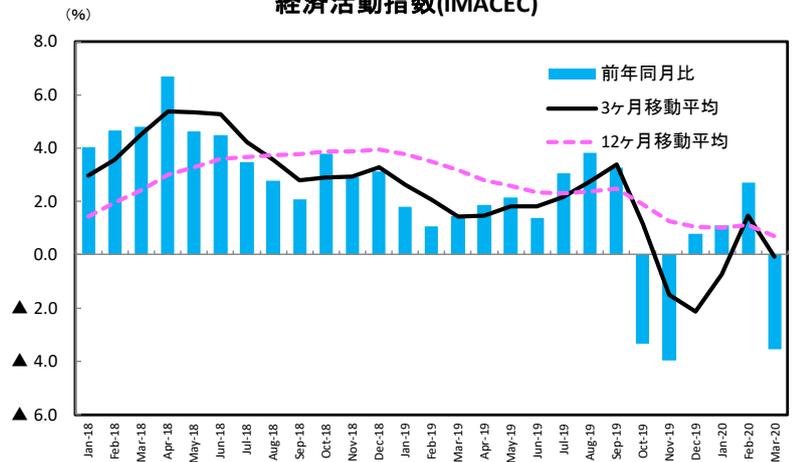
1. 経済指標

(1) 経済活動指数(IMACEC) - 前年同月比▲3.5%増 -

3月のIMACECは前年同月比▲3.5%、(季節調整済前月比は▲5.7%)となった。営業日数は昨年より1日多かった。鉱業は前年同月比0.8%、鉱業以外の業種は同▲4.0%だった。季節調整済前月比では鉱業は▲1.6%、非鉱業部門は▲6.1%となった。

中銀アンケート(5月)による見通しは4月▲8.1%(中央値)となっている。

経済活動指数(IMACEC)



(2) 消費 - 悪化している -

① 3月の商業活動指数(実質, INE公表)は、前年同月比▲9.0%、同指数の小売業(除く車)は同▲10.7%となった。

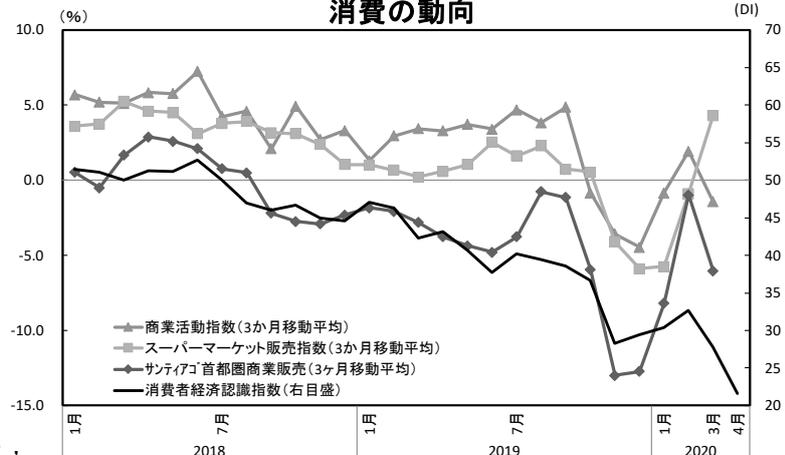
② 3月のスーパーマーケット販売額(実質, INE公表)は、前年同月比7.1%となった。

③ 商業販売額(チリ商工会議所公表, サンティアゴ首都圏, 暫定値)は、3月は前年同月比▲19.6%となった。

④ 4月の消費者経済認識指数(IPEC, GfkAdimark公表)は21.6(前月差▲6.2)、個人の景気認識(現状)は22.0(同▲9.6)と、引き続き50(中立点)を下回っている。

⑤ 4月の新車販売台数は8,906台(前年同月比▲72.8%)となった。

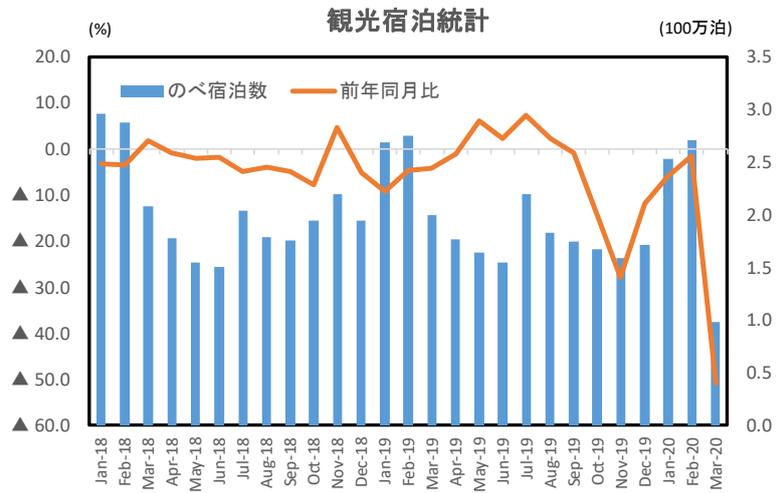
消費の動向



**(3) 観光－急速に悪化している－**

3月の観光宿泊調査(INE公表)は、のべ宿泊日数が987,137日、前年同月比▲50.7%となった。

地域別では、シェアの大きい首都圏州は同▲56.1%(寄与度▲19.5%)、バルパライソ州は同▲63.8%(寄与度▲7.4%)となった。その他の地域合計では、同▲44.4%となった。

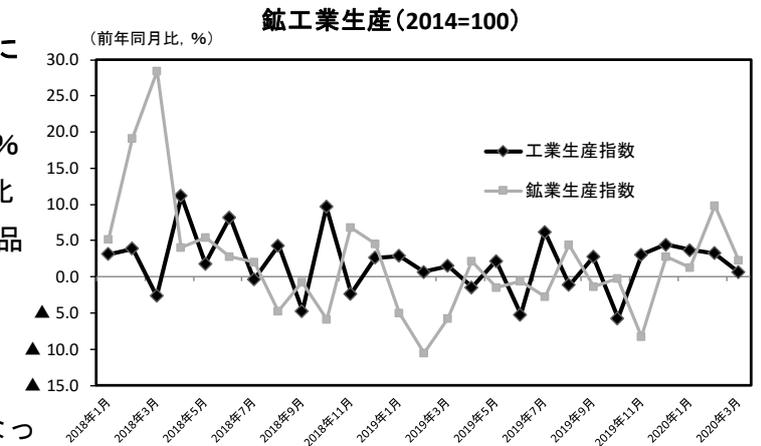


**(4) 鉱工業生産、電力－工業、鉱業ともに増加－**

3月の工業生産指数は、前年同月比0.6%となった。セクター別では化学が前年同月比寄与度2.19%と増加に寄与した一方、食料品が同▲0.55%と減少に寄与した。

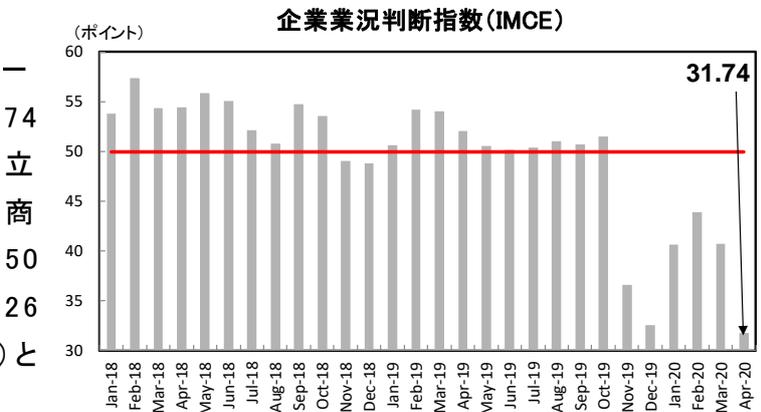
3月の鉱業生産指数は前年同月比2.3%、銅生産量は同4.2%となった。

3月の電力指数は前年同月比1.2%となった。



**(5) 企業の業況判断－一部で大きく悪化－**

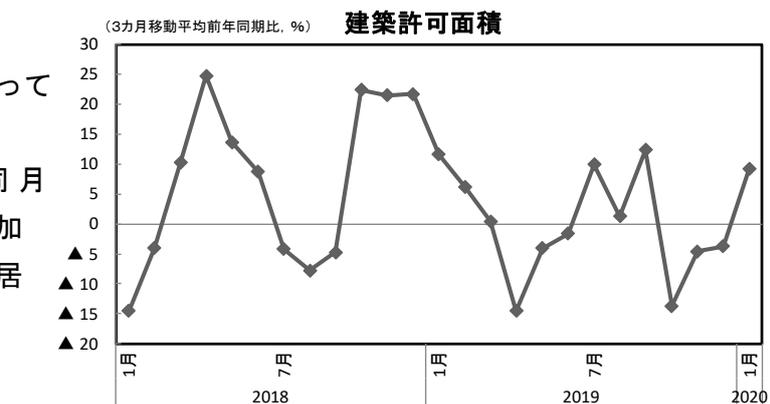
4月のIMCE(企業業況判断指数)は31.74ポイントで、前月差▲8.96ポイントとなり、中立点を引き続き下回っている。内訳を見ると、商業が27.21(同▲13.17ポイント)、鉱業が60.50(同7.93ポイント)、製造業は32.77(同▲10.26ポイント)、建設業が6.43(同▲17.83ポイント)となった。



**(6) 不動産－減少している－**

※コロナウイルスの影響により調査が止まっている。

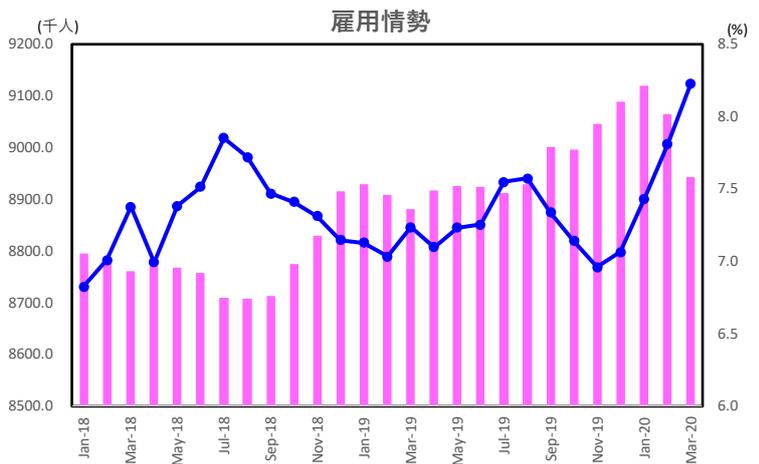
1月の建築許可面積(INE公表)は前年同月比9.2%(3か月移動平均)と4か月ぶりに増加した。内訳を見ると、住居が同17.1%、非住居は同▲6.6%となった。



**(7) 雇用－失業率は高い水準にあり、悪化している－**

1～3月期の失業率は8.2%（前年同期差0.99%）と、高い水準にある。前年同期で見ると、労働力人口は172,481人増加（前年同期比1.8%）、就業者数は63,315人増加（同0.7%）し、失業者数は109,166人増加（同15.8%）している。就業者数を職業別にみると、サービス業が寄与度0.78%と増加に寄与する一方、製造業が同▲0.74%と減少に寄与している。

3月の賃金（速報値）は、名目は前年同月比4.6%、実質は同0.8%となった。

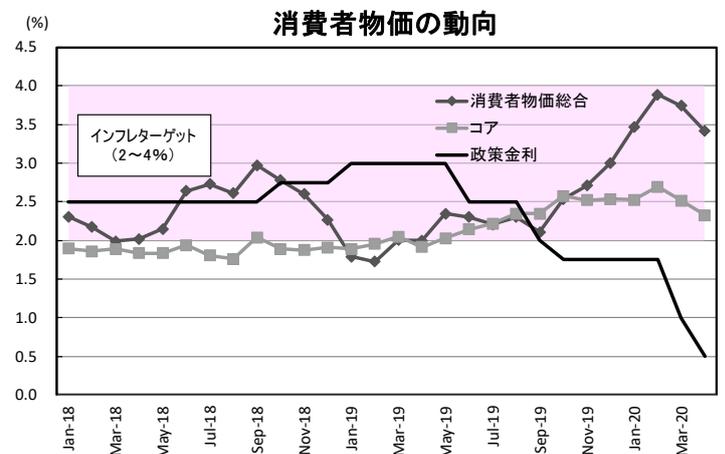


**(8) 物価－横ばい－**

4月の消費者物価指数（総合）は、前月比は▲0.0%、前年同月比は3.4%となった。品目別に前年同月比の動きをみると生鮮（10.7%）、食料品（6.6%）が上昇している一方、通信（▲3.8%）が下落している。なお、生鮮・燃料を除く指数は、前月比▲0.1%、前年同月比2.3%であった。

中銀アンケート(5月)によるインフレ期待は1年後：2.5%（前月2.9%）、2年後：3.0%（前月3.0%）となっている。

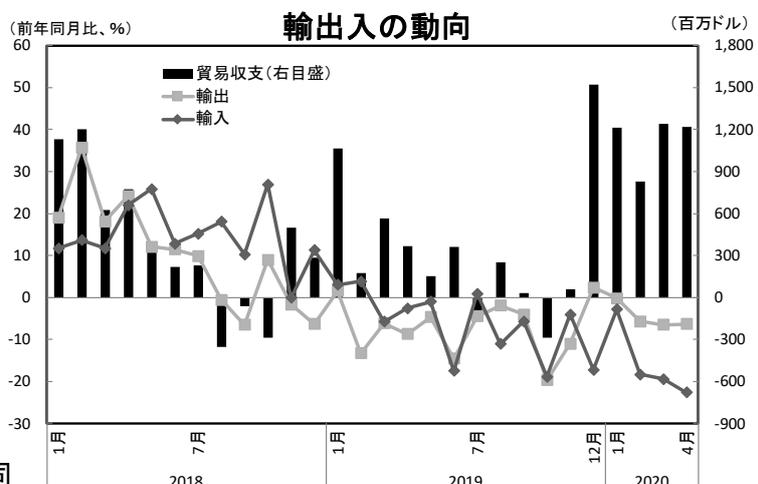
3月の生産者物価（全産業）は、前月比は▲1.3%、前年同月比は1.8%となった。電気ガス水道（前年同月比11.5%）、農林牧畜（同12.1%）が上昇した。



**(9) 貿易－黒字が続いている－**

① 4月の輸出額（FOB）は53.5億ドル（前年同月比▲6.3%）となった。内訳を見ると、鉱業品27.1億ドル（同▲3.8%）（全体の51%）、農林水産品6.4億ドル（同▲13.1%）（全体の12%）、製造業品20.1億ドル（同▲7.3%）（全体の38%）となった。鉱業品のうち銅は23.9億ドル（同▲7.8%）（鉱業品輸出額全体の88%）となった。

② 4月の輸入額（FOB）は41.4億ドル（前年同月比▲22.7%）となった。内訳（CIF）は、消費財10.6億ドル（同▲32.6%）、中間財23.3億ドル（同▲17.0%）、資本財10.8億ドル（同▲16.9%）となった。



③ 4月の貿易収支(FOB)12.2億ドルの黒字となった。

## (10) 対日・中・韓貿易

① 対日貿易(FOB)2月の貿易額は、輸出額5.0億ドル(前年同月比11.3%)、輸入額0.9億ドル(同▲56.4%)、貿易総額では5.9億ドル(同▲10.1%)となった。

② 対中貿易(FOB):2月の貿易額は、輸出額14.6億ドル(前年同月比▲18.1%)、輸入額11.1億ドル(同▲23.7%)、貿易総額では25.7億ドル(同▲20.6%)となった。

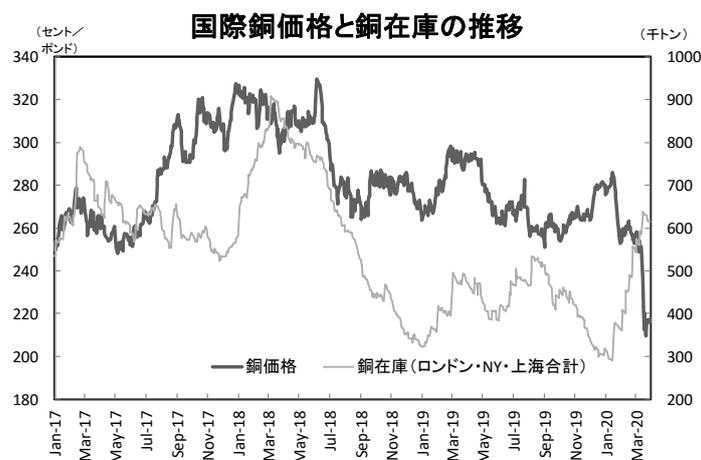
③ 対韓貿易(FOB):2月の貿易額は、輸出額4.2億ドル(前年同月比8.7%)、輸入額0.7億ドル(同▲31.2%)、貿易総額では5.0億ドル(同0.2%)となった。

## 2. 市場の動き

### (1) 国際銅価格－持ち直している－

4月の国際銅価格は1ポンド2.16454ドル(1日)で始まった。コロナからの回復感や銅供給の減少から値を戻した。月末には2.29563ドル(30日)と前月末比5.5%で終了した。

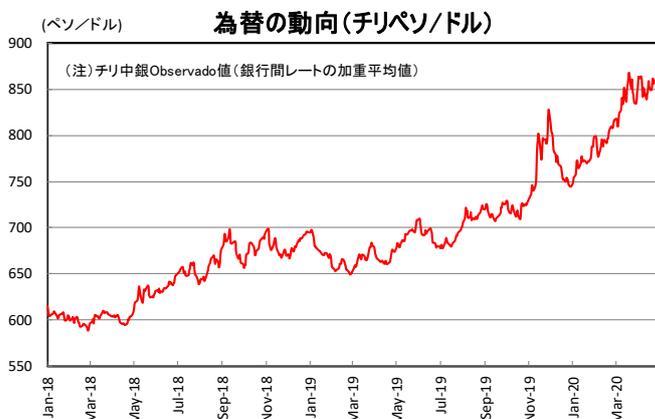
4月の銅在庫は、615,040トン(1日)で始まり、月末には521,181(30日)と前月末より減少した。



### (2) 為替－ペソ安に一服感－

4月の為替は、1ドル852.03ペソ(1日)で始まった。コロナウイルスの影響が続いていたものの、月末に欧米での蔓延の一服感や経済回復への期待感からドルが売られる展開となり、大きくペソ高が進んだ。

月末は836.62ペソ(30日)と前月末差▲9.68ペソ安で終了した。



### (3) 株価－持ち直している－

4月のIPSA値(サンティアゴ主要株式指数)は3421.29ポイント(1日)で始まった。月末には3977.56ポイント(30日)と、前月末比14.1%で終了した。

